



特集
2

暴風雨に備える

近年、勢いを増す集中豪雨や台風。それによる被害も甚大なものとなっています。令和8年8月2日には大雨により北上川が増水、管内では道路が冠水し、住宅で床下浸水が起こるなどの被害が発生しました。台風やそれに伴う大雨にまだまだ気が抜けないこの時期、水害から大切なものを守るために何ができるのか、今回はその対策などを紹介します。

水害から命を守るためには、大雨が降る前、風が強くなる前から準備をしておくことが大切です。気象予報をこまめにチェックするようにしましょう。平時からできる備えは前もって行っておくとともに、台風や雨雲が近づいてきた際は、防災気象情報を利用し行動することで、被害を未然に防いだり、軽減したりすることができます。

1. 情報を手に入れよう

○ ハザードマップ

地域ごとの災害危険度は、市区町村などの「ハザードマップ」で確認できます。ハザードマップとは、自然災害が発生した時の浸水などの被害範囲を予想し、地図上に示したものです。想定される被害に応じて災害対策や避難経路を考えましょう。

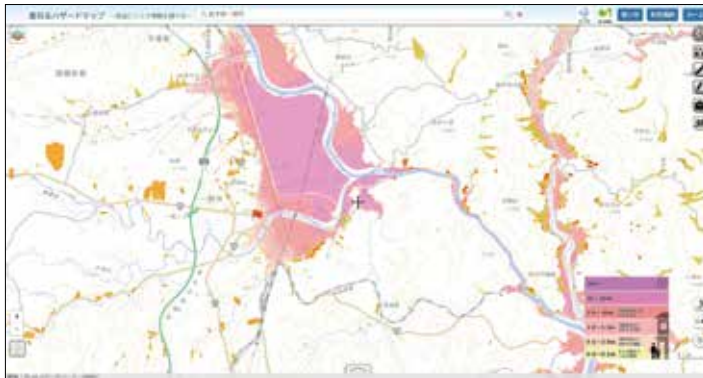
○ 防災気象情報

災害による被害を食い止め、軽減することを目的とした、気象庁が発表する気象情報です。大雨や土砂災害、高潮、河川氾濫の警戒レベルに相当する警報などの他、緊急地震速報や風雪、津波、火山噴火などに対する警報など、さまざまな情報があります。

○ キキクル

気象庁が提供する防災ツール「キキクル」は、発生しうる土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度を色分けして地図上に表示することで、地域の状況をリアルタイムで把握できます。「土砂キキクル」「浸水キキクル」「洪水キキクル」の3種類に分かれ、最新の予測情報を提供します。

■ 管内（一部）の洪水ハザードマップ



出典：ハザードマップポータルサイト

■ 防災気象情報が示す警戒レベル

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

出典：気象庁

2. 家の外の備え

- 窓や雨戸はしっかりと施錠し、必要に応じて補強しましょう。
- 側溝や排水溝を掃除し、水はけを良くしておきましょう。
- 風で飛ばされそうなものは飛ばないように固定しておくか、家の中にしまいましょう。



3. 家の中の備え

○非常用品の確認

☐ 懐中電灯	☐ 衣類	☐ 貴重品
☐ 救急薬品	☐ 携帯用ラジオ	
☐ 非常用食品	☐ 携帯ボンベ式コンロ	など



さらに詳しい
チェックリストは
こちらから

○室内からの安全策

- ・飛散防止フィルムを窓ガラスに貼り、足元の安全を確保しましょう。
- ・飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドを下ろしておきましょう。

○水の確保

- ・断水に備えて飲料水を確保しておきましょう。
- ・浴槽に水を張るなどして生活用水を確保しましょう。



4. 避難する際の注意点

- 非常用品はコンパクトにまとめリュックサックに入れ、両手が使えるようにしましょう。
- 防災気象情報「警戒レベル4」までに避難をしましょう。
- 増水した河川や水路、崖などの危険な場所には近づかないようにしましょう。
- 災害・避難カードを活用しましょう。

■ 災害・避難カードの書き方(例)

災害・避難カード		
【○○町△△字□番地▽号：避難が必要となる災害と避難方法等】		
災害	避難行動	注視する情報
A川の洪水	自宅2階	洪水キキクル
B川の洪水	○○避難場所	B川レベル4 氾濫危険警報
土砂災害	△△避難場所	レベル4 土砂災害危険警報

出典：気象庁

災害時にどのような情報に着目すべきか、どのような避難行動を取れば良いかは、お住まいの地域や想定される災害によって異なります。自治体から避難情報が発令された時に適切な行動ができるよう、あらかじめ「災害・避難カード」を作成しましょう。

詳しくは、気象庁「大雨や台風に向けて」をご覧ください。